

ポーランドからの報告

自己紹介 ポーランド人の夫と結婚し、3年前にポーランドのクラクフに引っ越してきました。夫と2歳になる娘の三人暮らしです。趣味:旅行、水泳、WEB サイト製作など。どうぞよろしく!

<https://blog.goo.ne.jp/ebistrade7/e/a91eb349d68474e3da954bb3991e86af>

ハルクローヴァの風に吹かれて～Villa AKIKO I 2007年02月16日 | 人々

ポーランド南部・ザコパネの北東 30km の小さな村、ハルクローバ(Harklowa)ー隣国スロヴァキアとの国境近くに位置する、人口 1500 人ほどの、とても小さな村です。この村でペンションを経営されている日本人の一家がいます。Villa AKIKO の三和昭子さんご一家です。



三和昭子 さん Villa AKIKO のオーナー・女将さんです。お料理から接待まで経営の全般を担当。昭子さんの人柄を慕って、これまでに 5000 人以上、世界約 30 カ国のお客様が訪れました。

三和のぶ さん Villa AKIKO の若女将、三和家次女。お母様の昭子さんとこれまで二人三脚でペンションを盛り立てきました。お客様の送迎から観光旅行の添乗、ガイドまで何でも OK のオールマイティな秀女。趣味のスカイダイビングは、ノヴィ・タルグの飛行場に通い、1996 年の世界選手権大会には日本代表選手として出場するほどの腕前。ポーランド人のだんな様ミハウさんとの間に、2 歳の娘ユリアさんがいます。

三和りょう さん Villa AKIKO の影武者、三和家長男。ペンション建設時から、数少ない男手として力仕事でペンション経営に貢献してきました。現在はワルシャワで歯科技工士として活躍されています。ポーランド人の奥様マウゴジャータさんとの間にお子様が出来たばかり。ハンドグライダーのライセンス取得者でもあります。

三和昭子さんがペンション経営を始めようと思ったのは、今から 14 年前の 1993 年のことです。当時のポーランドは、まだ社会主義体制から体制が変わってすぐの時代でした。

標高 780m から眺めるタトラ山脈の美しい稜線、ベスキディ山脈の豊かな森と水源、マウオポルスカの木造教会。クロッカスや雪見草の咲き乱れる穏やかな春、ブルーベリーやフランボワーズが実る高原の夏、キノコ狩りに紅葉狩りの黄金の秋、一面銀色に染まる雪深い冬。ハルクローヴァのさわやかな風に吹かれ、新鮮な空気の中で過ごす時間、そして眼下に広がるガリツィア地方の牧歌的な景色は、昭子さんの心を捉えました。ーただ純粋に「ここで生きていきたい」と思ったー そのライフスタイルはポーランド人からも高い関心を持って注目され、雑誌『ELITY』ポーランド語版・2003 年 6 月号で、この Villa Akiko が見開き 6 ページにわたって特集されました。

2 コメント(10/1)

Unknown (ぴっちゃん) 2007-02-25 11:25:50

Akiko さんとはだいぶ前にお会いしたことがありますが、ヴィラには行ったことがありません。いつか泊まってみたいです。

非常にブログ参考になりました (大槻 吉弘) 2011-10-08 04:35:45

先週ヨーロッパ旅行の中でポーランドの南部を3日間だけレンタカーで旅行しました。Akikoさんのペンションに2泊、またプワシュフ強制収容所跡も見てきました。アーモンゲイトの住んでいた家があったのには驚きました。このブログに出会わなかったらポーランドに寄ることはなかったと思います。本当に参考になりました。ありがとうございました。

<https://blog.goo.ne.jp/ebistrade7/e/c9072bf6a7b750df50e5bc5bd3330915>

ハルクローヴァの風に吹かれて～Villa AKIKO II 2007年02月16日 | 人々

山奥でのペンション作りは、本当に何も無いところからスタートしました。荒地を均す道路工事から始まって、建物の基礎工事、内装工事、プールやジムの設置 etc.. 完成までに3年もの月日がかかりました。何もなかったところに建物ができたということで、住所も新たに作ることになり、昭子さん自ら OS.ARIAKE(有明地区)と命名。ARIAKE はポーランドで初めての日本名正式住所として登録されました。



さてこうして完成された客室は、内装はガリツィア地方の伝統的なスタイルを貫きながらも、お部屋名は、さらにもも・うめ・あんず..etc と和波折衷！そしてお食事は、自家栽培している白菜や大根などの日本の野菜を使って、手作りの日本食を出すこだわりです。こんなオーナーの昭子さんの人柄を慕って、これまでにポーランド国内外の大勢の日本人・外国人ツーリストがこの Villa AKIKO を訪れています。

<https://blog.goo.ne.jp/ebistrade7/e/f2df45faa850f125c6f8e59a3bbe53e8>

ハルクローヴァの風に吹かれて～Villa AKIKO III 2007年02月16日 | 人々

ヨーロッパ旅行というとガイドブックに掲載されている有名所を駆け足で見て回る旅になりがちですが、観光地だけが旅のデスティネーションではありません。時にはこういった山奥の Villa を訪れ、気楽なひと時を過ごすのも、また一味ちがった贅沢ではないでしょうか？ 付近の国立公園を散策したり、川釣りを楽しんだり。少し足を伸ばせば、ユネスコ世界遺産にも指定されている、マウオポルスカの木造教会群を訪れることもできます。

そしてもちろん、四方を自然に囲まれたロケーションならではの、楽しいアトラクションの数々。カヤックやイ

カダでの川くだりや、湖でのウインドサーフィンを楽しんでもよいし、ノヴィ・タルグの飛行場で軽飛行機やグライダーに挑戦したりと、スポーツ好きの方も、たしなむ程度の方も楽しめます。



そしてアウトドアスポーツに疲れたら、Villa の室内プールやジム、ジャグジーでくつろいでと、もうここは一大リゾートスパ！その他スキー、マウンテンバイクや、ロッククライミングから乗馬までなど、四季折々のイベントが用意されています。



Villa AKIKO

34-434 Debno Harklowa Os.Ariake 1

TEL.(+48) 18-275-1728

FAX: (+48) 18-264-4005

Mobile: (+48) 601-45-4765

Villa Akiko へのアクセス: 電車の場合

- ・ワルシャワ中央駅から特急電車でクラクフ中央駅へ(所要時間 2 時間 30 分)、クラクフからバスでノヴィ・タルグへ(1 時間 30 分)、ノヴィ・タルグからハルクロヴァまでタクシー(約 10 km)
- ・車の場合:クラクフ →ノヴィ・タルグ国道 E77 号線経由で 95 号線 (約 70 km)、ノヴィ・タルグ → ハルクロヴァ国道 969 号線 (約 10 km)